

地球温暖化対策計画書

平成25年 7月 22日

（提出先）
横浜市長

住所 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-45
みなとみらい二十一熱供給株式会社
氏名 取締役社長
樋高 雄治
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	みなとみらい二十一熱供給株式会社 取締役社長 樋高 雄治					
事業者の主たる 事業所の所在地	〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-45					
主たる事業の業種	大分類	F 電気・ガス・熱供給・水道業				
	中分類	35 熱供給業				
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量	38,939	k l	自動車の台数		台

2 計画期間

平成25年度～	平成27年度
---------	--------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

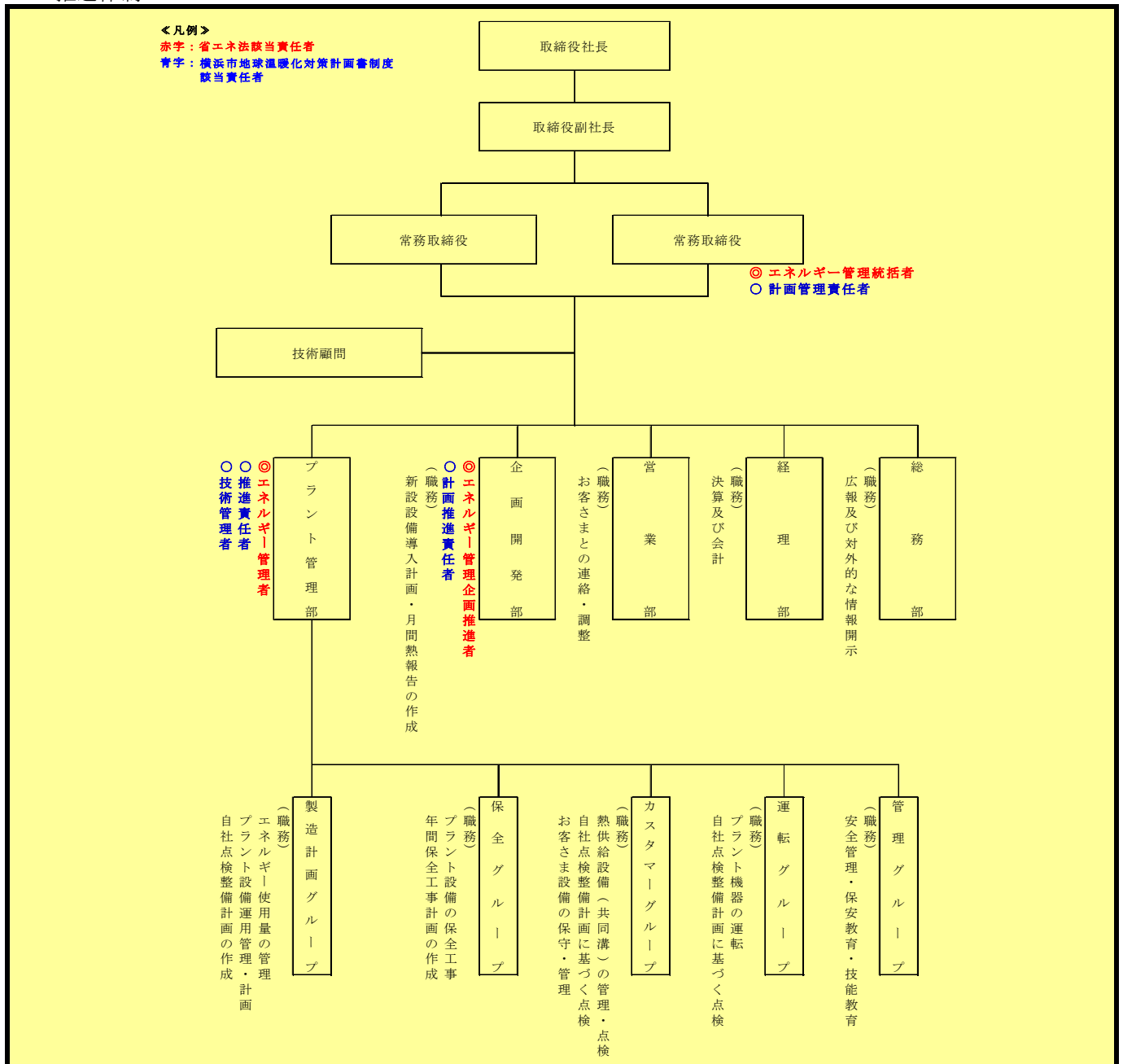
当社は国際都市・横浜が誇る「みなとみらい21中央地区」の熱供給を一手に担う環境貢献企業として、今後とも地域の環境負荷低減に取り組んでまいります。

第1次計画期間に策定した基本方針を継続し、第2次計画期間からは既存機器の高効率機器への更新に着手していくとともに、エネルギー使用の合理化を進め、ハード・ソフト両面で最適化を図ることで、CO₂排出原単位の低減とエネルギー利用効率の向上を目指します。

- 機器の増設・更新にあたっては最新の高効率冷凍機・ボイラを導入します。
（平成26年度中にボイラ1台増設予定、平成27年度中に既設の吸収式冷凍機3台および電動式冷凍機1台を撤去し、高効率吸収冷凍機2台へ更新予定）
- 導入した高効率冷凍機を優先的に運転し省CO₂化に取り組みます。
- 原材料である電気・ガスの使用比率を見直し省CO₂化を実現します。
- 省エネ・CO₂削減を念頭に置いた中長期の設備更新計画を策定し、実施してまいります。

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	http://www.mm21dhc.co.jp/
窓口で閲覧	閲覧場所	/
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	/
	入手方法	
その他		/

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (平成24年度)	基準排出量	74,896	t-CO ₂		基準原単位	57.57	t-CO ₂ /	千GJ	
	調整後	74,833	t-CO ₂		目標原単位	57.00	t-CO ₂ /	千GJ	
目標年度 (平成27年度)	目標排出量	77,449	t-CO ₂	削減率	▲ 3.4	%	削減率	1.0	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>《目標設定の前提条件》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱販売量が想定通りに進捗することが前提である。 <p>《目標排出量が基準年度より増加する要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間内において熱供給区域内の開発が進み、新規需要家の熱需要に対応するため製造量が増加することにより、CO₂排出量の総量では増加となる。 <p>《目標原単位が基準年度より減少する要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最需要期を中心に運転する吸収式冷凍機の一部について、平成27年度に既設機器から高効率機器に更新し、高効率・省CO₂化を実現する。 ・原材料である電気・ガスの使用比率について、より一層の適正化を図り省CO₂化を実現する。 ・高効率機器へ最適な運転移行を行う。 								
その他ガス削減目標、事業者全体としての目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・熱供給事業についての啓蒙・普及活動を通して、対外的に環境に関する意識を高めていくことを推進していく。 ・みなとみらい21中央地区における環境貢献企業として、今後とも地域の環境負荷低減に取り組んでいく。 								

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂		基準原単位		t-CO ₂ /		
	調整後		t-CO ₂		目標原単位		t-CO ₂ /		
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%	削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
その他ガス削減目標、事業者全体としての目標等									

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度	
	事業所等の数 (所)	排出量の合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	1	74,896
1,500k l 以上 3,000k l 未満		
500k l 以上 1,500k l 未満		
500k l 未満		
合計	1	74,896

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度	
	台数 (台)	排出量の合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車		
小型貨物自動車		
大型バス		
マイクロバス		
乗用自動車		
合計	0	0
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%

9 重点対策の実施状況

重点対策		基準年度	計画期間	備考
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	実施済		対象事業所：1事業所
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	実施済		対象事業所：1事業所 第1次計画期間内に更新等の検討が実施済
	3 機器管理台帳の整備	実施済		対象事業所：1事業所
	4 照明設備の運用管理	実施中	計画化	実施時期：平成25年度 プラント照明設備の更新に合わせ低使用頻度区域に人感センサー導入を予定
	5 エネルギー使用量の把握	実施済		対象事業所：1事業所
	6 各種図面の整備	実施中	計画化	実施時期：平成25年度 図面、図書等の再整理を実施中
	7 外気導入量の適正管理	実施済		対象設備：8設備 管理標準と定期点検により管理済
	8 フィルター等の清掃	実施済		対象事業所：1事業所
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	実施済		対象設備：141設備 管理標準と日常の運転監視により管理済
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	実施済		対象事業所：1事業所
	11 室内温度の適正管理	実施中	計画化	実施時期：平成25年度 事務所空調機一部更新予定に合わせた温度管理区画の細分化を行う
	12 地下駐車場の換気管理	非該当		管理管轄外
	13 照明設備の高効率化	実施中	計画化	実施時期：平成25年度 プラント照明設備更新予定 FLRからHf、LED等の高効率器の導入を検討中
	14 事務所機器の待機電力管理	実施済		対象事業所：1事業所
	15 機器性能管理	実施済		対象設備：27設備 主要機器であるボイラ、冷凍機を対象とし管理済
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	実施済		対象設備：20設備 熱事業法と管理標準により管理済
	17 燃焼設備の空気比管理	実施済		対象設備：7設備 ばい煙測定と管理標準により管理済
	18 排出ガス温度の管理	実施済		対象設備：7設備 ばい煙測定と管理標準により管理済
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	実施済		劣化箇所を確認した場合、適宜補修する
	20 工業炉表面の断熱強化	非該当		工業炉不設置
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	実施済		対象設備：6設備
	22 コンプレッサの吸気管理	実施済		対象設備：6設備
第3号該当事業者	23 推進体制の整備			
	24 自動車の適正な使用管理			
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理			
	26 エコドライブ推進体制の整備			
	27 自動車の適正な維持管理			

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明設備 (5F事務所)	平成24年度	更新前:FLR43W型×81灯+DL型18W×10灯 更新後:LDL22W型×84灯	2.344 t-CO2/年の削減効果 (年間2783時間使用)
2				
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成24年度	みなとみらい21地域冷暖房施設	63	東京電力
2					
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> 機密文書古紙回収リサイクルを実施。
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー管理士、エコ検定などの受験を奨励する。 機密文章古紙回収リサイクルを実施する。 YMM、街づくり協議会主催の環境活動への参加奨励。 省エネルギーセンター、および市地球温暖化対策協議会などが主催する省エネ研修会への参加奨励。

13 計画等に対する自己評価

<p>第1次計画期間において、高効率電動式冷凍機の優先運転と主要消費エネルギーである電気・ガスの使用比率の適正化等の対策に取組、最終年度におけるCO2排出原単位を、基準年度比8.1%削減目標に対し12.3%と目標を超える大幅な削減を達成することができました。</p> <p>第2次計画期間におきましても、事業区域であるみなとみらい21中央地区は引き続き開発進展に伴う需要の増加が見込まれるため、総量削減は困難な状況ですが、ハード面の対策として、第一次計画期間から行っていた需要予測やリニューアルシステムの検討結果を受け、平成25年度以降、漸次主要エネルギー機器更新・増設を行い既設設備から高効率設備へ移行してまいります。ソフト面での対策としては前計画期間に引き続き、エネルギーの使用比率の適正化を検討し、高効率機器の優先使用を行うことで運用効率の向上に努めてまいります。</p> <p>本計画期間におきましても、着実に地球温暖化対策への取組を進めてまいります。</p>
--

地球温暖化対策計画書

1 事業所等の概要

事業所等の名称	みなとみらい21地域冷暖房施設					
事業所等の所在地	〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-45					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	21,021	㎡	原油換算エネルギー使用量	38,939	k l
	事業所等の区分	熱供給施設		所有形態	その他	
	エネルギー管理権原	全て有り		使用形態	その他	
	当社が所有する2つのプラントは蒸気管・冷水管・情報伝送系が全て接続されており、事業者＝事業場としセンタープラント・第2プラントを一括で一つの事業所として扱っている。 所有形態・使用形態についてはセンタープラントは自社ビル、第2プラントは西区みなとみらい2丁目クィーンズスクエア横浜にテナントとして入居している。 延床面積およびエネルギー使用量は両プラント合算である。					

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

総括票を参照

3 推進体制

総括票を参照

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (平成24年度)	基準排出量	74,896	t-CO ₂	基準原単位	57.57	t-CO ₂ /	千GJ
目標年度 (平成27年度)	目標排出量	77,449	t-CO ₂	目標原単位	57.00	t-CO ₂ /	千GJ
		削減率	▲ 3.4		%	削減率	1.0
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	総括票を参照						